

事業シート（概要説明書）					
仕分対象事業名（個別事業名）		公衆浴場設備整備費補助金			
中事業名		公衆浴場助成事業	担当部・課名	市民経済部産業振興課	
総合計画上の位置付け（分野名）		産業振興	担当名	商工担当	
事業開始年度	昭和58年度	根拠法令	鎌倉市公衆浴場設備整備費補助金交付要綱		
	昭和58年度		鎌倉市公衆浴場確保対策事業費補助金交付要綱		
実施方法		補助金〔直接・間接〕（補助先：公衆浴場の設備を設置する経営者）			
		補助金〔直接・間接〕（補助先：公衆浴場）			
事業概要	目的 （何のために）	市民の生活に欠かせない施設でありながら、零細事業化している公衆浴場の経営安定を支援する			
	対象 （誰・何を対象に）	給水設備等の整備をする浴場			
		1日の平均利用者が200人以下の浴場			
	事業内容 （手段、手法など）	内装設備整備、外装設備整備、給水湯設備整備の3区分について、各区分ごとに補助対象事業費の限度額と補助限度額を定め、補助率を20%以内として補助金を交付する。			
半径500m以内に競合するほかの公衆浴場がなく、1日の平均入浴者数が200人以下の浴場に対して、市と県が合同で運営費として補助金を交付する。					
事業の必要性	市民の利用機会の確保を図るためには、公衆浴場の空白地域の増加を防止する手段として支援策は必要。				
コスト	平成22年度		人件費内訳		従事職員数
	事業費	1,699 千円	}	職員構成	
		220 千円		担当正職員	912 千円
	人件費	912 千円		臨時職員他	千円
総計	2,831 千円				
事業費 （財源内訳・ 単位千円）	年度	総額	補助対象事業の全体経費に対する 市の負担（支出）割合	平成22年度予算の財源内訳	
	H19(決算)	1,000	11.3%	国補助金	0
		240	13.6%		
	H20(決算)	896	12.6%	県補助金	90
		240	13.1%		
	H21(決算見込)	1,590	16.9%	起債	0
		240	11.7%		
H22(予算)	1,699	17.5%	一般財源	1,699	
	220	11.3%			130

<p>平成22年度 事業費内訳</p>	<p>補助金 1,699千円 ・脱衣室床が湿気により劣化したため整備する。(見積金額3,500千円、補助金600千円) ・湯が少しづつ漏水していて、沸かした湯が漏れてしまうため、内釜と外釜の取替え工事を行う。(見積金額2,688千円、補助金400千円) ・煙突の外壁がはがれて落下し、危険があるため、煙突の塗装し、同時に屋根塗装を行う。(見積金額1,031千円、補助金200千円) ・緊急工費用(見積金額2,500千円、補助金500千円)</p> <p>補助金 220千円 ・半径500メートル以内に競合するほかの公衆浴場がなく、平成22年1月から12月の一日平均入浴者数が200人以下の公衆浴場に補助。(県から市に90,000円補助)</p>				
<p>活動実績</p>	<p>【活動指標名】/ 年度実績・評価</p>	<p>単位</p>	<p>H19年度</p>	<p>H20年度</p>	<p>H21年度</p>
<p>設備整備を行った公衆浴場数</p>	<p>軒</p>	<p>1</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>3</p>
<p>補助金交付対象浴場数</p>	<p>軒</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>1</p>	<p>1</p>
<p>事業費 / 設備整備を行った公衆浴場数</p>	<p>千円</p>	<p>1,000</p>	<p>298</p>	<p>530</p>	<p></p>
<p>事業費 / 補助金交付対象浴場数</p>	<p>千円</p>	<p>240</p>	<p>240</p>	<p>240</p>	<p></p>
<p>成果目標 (現状の成果及び今後どのようにしたいか、定量的な評価で示す)</p>	<p>本来は、自助努力による収益で設備整備を行うものだが、水周り等公衆浴場の存続に係る設備整備については、補助を継続し、計画的な設備整備を指導していく。</p> <p>補助制度一辺倒の支援でなく、1日平均200人以上の利用を目指し、商工振興アドバイザー事業の活用などにより、自立・安定的経営を誘導するよう工夫していく。</p>				
<p>成果実績 (成果指標の目標達成状況等)</p>	<p>【成果指標名】/ 年度実績・評価</p>	<p>単位</p>	<p>H19年度</p>	<p>H20年度</p>	<p>H21年度</p>
<p>確保対策補助金対象の公衆浴場一日平均入浴者数</p>	<p>人</p>	<p>78</p>	<p>74</p>	<p>75</p>	<p></p>
<p>事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)</p>	<p>経営者には、計画的な設備整備を指導しているが、零細経営のため、必要な改修・修繕を先延ばしにする傾向があり、この補助金を削減すると、公衆浴場経営者の健全な営業が停滞する要因となるので、引続き事業を継続させる必要があると考える。</p> <p>この補助金を削減すると、補助金交付対象浴場の経営を悪化させる要因となるので、引続き事業を継続させる必要があると考える。ただし、今後は商工振興アドバイザー派遣事業の活用などにより、補助金交付対象浴場の自立・安定的経営化を図る。</p>				
<p>比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)</p>	<p>・藤沢市...施設整備費補助金：H21年度予算額500(千円) ・茅ヶ崎市...公衆浴場設備整備補助金：H21年度予算額566(千円) ・逗子市...施設整備補助：H21年度予算額300(千円) ほか</p> <p>・三浦市...公衆浴場経営安定対策事業補助：H21年度予算額100(千円) ・横須賀市...確保浴場補助：H21年度予算額1,400(千円) ・茅ヶ崎市...公衆浴場確保対策事業費補助：H21年度予算額360(千円) ・小田原市...公衆浴場確保対策事業費補助：H21年度予算額50(千円) ほか</p>				
<p>特記事項 (事業の沿革等)</p>	<p>鎌倉市内公衆浴場数の推移 平成3年度末 ...11軒 平成4年度末 ...10軒 平成5年度末 ... 9軒 平成6年度末 ... 8軒 平成8年度末 ... 7軒 平成10年度末... 6軒 平成18年度末... 5軒 平成21年度末... 5軒</p>				